信毎の文字 目に優しく

ユニバーサルデザイン（UD）文字に

信濃毎日新聞は、夕刊は7月21日付から、朝刊は7月22日付から、くっきりとのびのびした文字になります。高齢化社会にも対応し、誰にとっても読みやすく。新しい文字は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づいて開発しました。

■優文字を読みやすく

「大きく、ゆったり読みやすい紙面」をめざし昨年3月、57年ぶりの大規模な紙面改革を行いました。それまでより大きい基本文字「優文字」を導入。1ページ15段制を12段制にして、1行の文字数を13字に増やしました。行間も8%広げました。

21日の夕刊から

「優文字」は、縦約3・2ミリ、横約4・0ミリ。それまでの基本文字（縦約3・0ミリ、横約3・8ミリ）より面積で11・1%大きくなりました。1951（昭和26）年から30年近く続いた鉛活字に比べると、2倍以上の大きさです。形は、正方形に近づきました。

大きくなった利点を生かし、さらに読みやすい活字を作れないか―。書体の開発・制作を手掛ける株式会社イワタ（東京）と共同で、研究を進めました。

同社のサンプル書体を基に意見交換を重ね、輪転機による試し刷りも繰り返しました。

■読者調査を基に改良

読者が読みやすいと感じる紙面を調べるため、約300人の読者モニターに、4種類の基本文字で印刷した紙面を比較してもらいました。

モニター調査で好評だった文字に改良を加え、完成したのが新しい優文字、「UD新聞明朝体」です。同社によると、明朝体の基本文字のユニバーサルデザイン化は、全国の主要な新聞で初めての取り組みです。

横線太く のびのびと

現在の文字 信濃

UD文字 信濃

↑縦と横を実際の6倍に拡大

斜面

ことし生誕100年を迎えた作家太宰治の生年月日は？ 旧制高校時代、凝っていた芸事は？ 故郷の青森県五所川原市（旧金木町）の町おこしグループなどが企画した「太宰治検定」。全国から400人余が受験した◆冒頭の問いは、検定前に何度か行われた模擬試験の一部。本番も答えが択一式なので、出題された小説「津軽」と検定テキストを読んでおけば、そう難しくはなかったようだ。

斜面

ことし生誕100年を迎えた作家太宰治の生年月日は？ 旧制高校時代、凝っていた芸事は？ 故郷の青森県五所川原市（旧金木町）の町おこしグループなどが企画した「太宰治検定」。全国から400人余が受験した◆冒頭の問いは、検定前に何度か行われた模擬試験の一部。本番も答えが択一式なので、出題された小説「津軽」と検定テキストを読んでおけば、そう難しくはなかったようだ。

10	00	N天◇05S文地域発！瀬戸内・いのちのうみ里海は守れるか▽異変？大阪湾に不思議な光▽温暖化に強い稲探せ▽知床観光 8944231
11	11.30S文たまご 環境経営◇番審◇天 30725	
	00S	将棋講座「橋本崇載の受けのテクニック教えます」 119085
	20S	NHK杯将棋トーナメント「山崎隆之×遠山雄亮」解説・行方尚史 司会・矢内理絵子 12597153

10	00	N天◇05S文地域発！瀬戸内・いのちのうみ里海は守れるか▽異変？大阪湾に不思議な光▽温暖化に強い稲探せ▽知床観光 8944231
11	11.30S文たまご 環境経営◇番審◇天 30725	
	00S	将棋講座「橋本崇載の受けのテクニック教えます」 119085
	20S	NHK杯将棋トーナメント「山崎隆之×遠山雄亮」解説・行方尚史 司会・矢内理絵子 12597153

新しい基本文字を使った紙面を編集する本社整理記者

イワタ山形事業部でのUD新聞明朝体の制作作業（山形県天童市）

株価欄 銘柄もはっきり

朝刊経済面と夕刊2、3面（平日）に掲載している株価欄も、目に優しくなります。東証1部、2部などの銘柄表記の文字に、UDゴシック体を使い、小さい活字も見やすくなります。

「誰もが使いやすい」デザイン

ユニバーサルデザイン（UD）とは、年齢や障害の有無などにかかわらず、商品やサービスを誰もが等しく利用できるように配慮したデザインです。家や街づくりなどにも取り入れられています。「ユニバーサル」には「すべてに及ぶ、普遍的な」という意味があります。

米ノースカロライナ州立大の故ロナルド・メース教授が、1985年に正式に提唱しました。「単純で、直感的に理解可能」など七つの原則があります。

文字の書体では、株式会社イワタが2006年にユニバーサルデザインに配慮したゴシック体の書体を完成させ、家電製品のリモコンなどに使われています。

UD新聞明朝体の特徴

縦と横を実際の3倍に拡大

▽横線を太くして、縦線の幅に近づけることによって、文字のちらつき感を減らしました。

真田三代 ← 真田三代

▽字形や部首のバランスを改良、のびのびとしたデザインにしました。

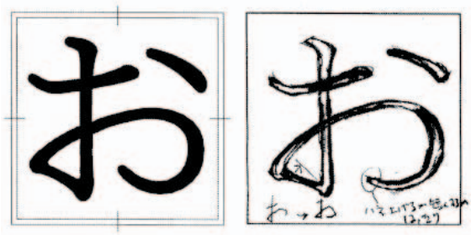
明 → 明

▽読み間違いを防ぐために、仮名の濁点、半濁点を改良。数字も分かりやすいデザインにしました。

ぼポ 36 ← ぼポ 36

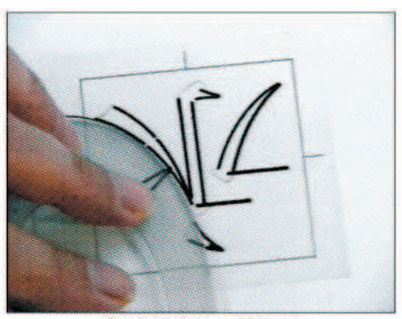
▽漢字と仮名の大きさのバランスを見直し、読みやすくしました。

完成した文字 ← 手書きの原図



文字ができるまで

①1文字ずつ紙にラフデザイン


②定規も使い縁取り

③中も塗りつぶします

④データをパソコンに取り込み修正

⑤デザイナーによるチェック。パソコンでの修正作業を繰り返します

UD新聞明朝体は約1万6千字。手書きの原図をパソコンに取り込み、修正を重ねました。一つの書体が完成するまでには、通常1、2年かかります。

（株式会社イワタの資料から）

このページの本文文字は、「UD新聞明朝体」を使いました。